

県道昭和インター線（森下工区） バイパス整備事業

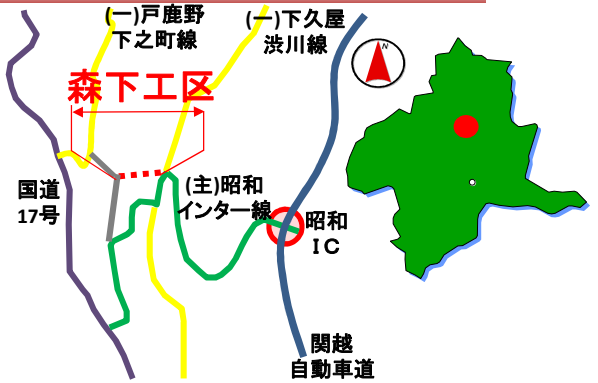
政策3 多様な移動手段の確保

施策2：自動車交通網の整備

事業概要

- 所在地：昭和村森下
- 路線名：主要地方道 昭和インター線
- 事業内容：バイパス整備 延長 0.76km 幅 10.0m
- 全体事業費：約10億円
- 事業期間：平成26年度～令和7年度（12年間）
- 現在の交通量（H27）：3,355台/日（現道_自動車）
： 61人/12時間（現道_歩行者）
： 15台/12時間（現道_自転車）
- 計画交通量（R12）：7,000台/日（バイパス）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・豊富な観光資源を活かした更なる観光振興を促すため

**バイパス道路
をつくります**

地元 の声

- ・現道は交差点が多くルートが複雑で昭和ICへのアクセスが分かりにくい。（地元住民）
- ・現道は幅員が狭く、歩道が無い区間があるため非常に危険である。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
交差点	5箇所	2箇所
周辺観光施設の観光客数	39万人（H27年度）	39万人（維持）

実施前

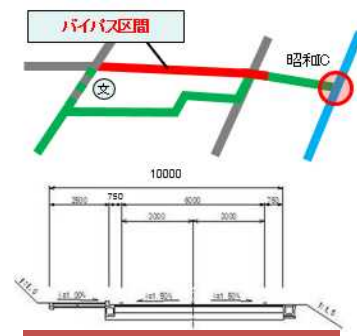
- ◆ 現道は線形不良で幅も狭い区間があり、昭和インターチェンジまでの通行に支障があります。



線形不良・歩道未整備

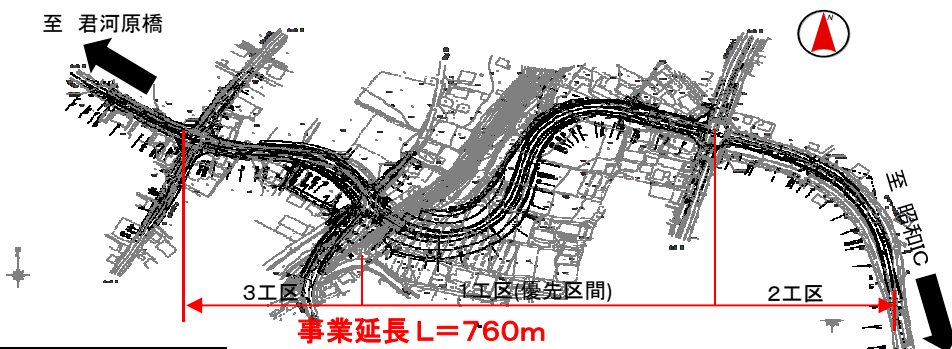
実施後

- ◆ バイパス道路によりインターチェンジまでの交差点数が減り、円滑な通行が確保されます。



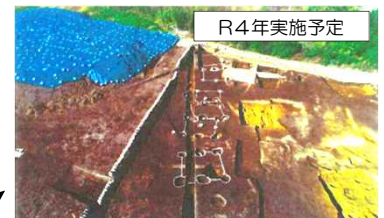
完成後のイメージ

事業の進捗状況（R4年3月現在）



今、何をしているか

令和4年度は用地取得・物件補償を実施します。また、用地取得完了箇所の埋蔵文化財の調査を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了